

## 放射性廃棄物ワーキンググループの再開について

平成26年10月  
資源エネルギー庁

- 放射性廃棄物ワーキンググループは、これまで立地選定が進んでいない現状を踏まえ、平成25年5月に最終処分の取組の見直しに向けた検討を行うために設置された。
  - 本ワーキンググループでは、平成26年5月に中間とりまとめを公表し、課題を整理するとともに、今後の取り組むべき方向性について提言を行ったところ。
  - 上記の提言を踏まえ、科学的有望地の選定の要件・基準等について議論するとともに、地域における理解活動のあり方や地域に対する支援のあり方等の更なる具体化等についても議論すべく、放射性廃棄物ワーキンググループを再開する。
- (注) なお、技術的な課題を検討するために設置された地層処分技術ワーキンググループについても、今後の放射性廃棄物WGの審議状況によって再開する可能性あり。

総合資源エネルギー調査会電力・ガス事業分科会原子力小委員会

放射性廃棄物 WG 委員名簿（案）

**委員長** 増田 寛也（株）野村総合研究所顧問／東京大学公共政策大学院客員教授

**委員** 新野 良子 柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会 会長

崎田 裕子 ジャーナリスト・環境カウンセラー／NPO 法人持続可能な社会をつくる元気ネット理事長

寿楽 浩太 東京電機大学未来科学部人間科学系列助教

高橋 滋 一橋大学副学長・大学院法学研究科教授

辰巳 菊子 （公社）日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会常任顧問

徳永 朋祥 東京大学大学院新領域創成科学研究科教授

朽山 修 （公財）原子力安全研究協会処分システム安全研究所所長

伴 英幸 NPO 法人原子力資料情報室共同代表

山崎 晴雄 首都大学東京大学院都市環境科学研究科教授

吉田 英一 名古屋大学博物館教授（館長）

※なお、委員については現時点案であり今後追加等の可能性あり。